

列強諸國を驚かして解放軍に入つて黨々と進軍することをわがふるものである  
光輝ある入會を了す事には専ら有言す。

今や芝倉とフアツシヨ作せる日本家地は、全労働者農民大衆の生活と自  
由を奪ひて全融資本の支配確立の犠牲となし一踏帝國主義戦争（即ち六ヶ  
月戦争）の準備に狂をしの、ある。

以上！食と仕事を求めて街頭に飢ゆる三百萬の失業者を！更に空守り飢  
を地獄に突き落とされてゐる農村の千萬の大衆を！しかも海軍、空軍、陸軍を  
多量に抱ひせるフアツシスト社会フアツシスト、クライゼは、この戦争の争  
疑となつて我等に！する裏切と策動を組んでゐる。

我が日本労働者台紙論議の第二回全日本労働者大会は、この戦争の下に労働者の  
中に持たれた。だが、この全代表議員は身を以て大会を守り戦前の最大なる  
労働方針を樹立し、更に戦前の日本労働者農民の最大なる利益である。  
労働政治委員会に對する確手不拔の方針を決定した。  
我等は本大会に於いて決定された方針を即刻實踐に移し、働くまで労働者の経  
済的利益の擁護伸張の爲に戦ふと共に今後行々加緊せられるであらう。